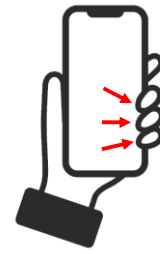


タッチ操作の種類 「押す」と「なぞる」を覚えたらスマホは使えます！

タップ 【軽く押す】	長押し 【数秒押し続ける】	スワイプ 【画面に触れながら指をスライドする】
決定や選択等、基本となる操作。ちょっと短く押す。ダブルタップはトントンと短い間隔で連続して触れる操作。	文字をコピーする時等に使用。メインの操作とは別の機能呼び出す時に利用する。PCでいうと、右クリックに近い動作。	ロックの解除や、表示画面を上下左右に動かす時等に使用する。
ピンチ 【指を広げる・つまむ】	ドラッグ 【長押ししてからそのまま指を動かす】	
拡大（ピンチアウト）・縮小（ピンチイン）を行う動作。写真データの閲覧や地図等で利用する。	ホーム画面のアプリの移動等を使用する。パソコンのドラッグ＆ドロップに近い動作。	



POINT

- ①画面は静電気で反応するため、ボタンのように押し込む必要はなし！
- ②スマホを持つときは、持っている手が画面に触れないよう注意！（誤作動の原因になる）

株式会社コネクト

【講師原稿】

それでは、タッチ操作の種類について説明します。

テキストをご覧ください。

スマートフォンは「押す」と「なぞる」をマスターするだけで上手に使いこなすことができます！

タップ～ドラッグを簡単に説明。

ここで操作と持ち方のポイントをお伝えします！

POINT①と②を説明

【講師向けコメント】

POINT②を説明するときは、実際にスマホを持って見せながら説明するとGOOD

スマホの基本知識			1
■ スマホの種類 スマートフォンはOSによって主に2タイプに分類されます。基本的な機能は同じですが、画面の表示や操作方法などが少し異なります。 (OSとは「オペレーティング・システム (Operating System)」の略で、スマホの基本動作やアプリを利用するための土台となるシステムのこと。)			
iPhone (アイフォーン)		分類	Android (アンドロイド)
iOS		OS	Android OS
Apple		OS開発会社	Google
iPhone		製品	Xperia、AQUOS、galaxy等
Apple		製品開発会社	SONY、SHARP、Samsung等
・機能がシンプルで分かりやすく、快適に操作ができる ・他のApple製品(Macなど)との互換性が高い ・安全性の高いアプリが提供されている ・スマホカバー等を種類豊富に選べる ・国内シェア率が高い ・アプリのセキュリティが高い		メリット	・デザインから性能までこだわってスマホを選べる ・外部ストレージ (microSD) を利用するなど購入後も独自のカスタマイズができる ・ホーム画面のレイアウトも自由に変更できる ・安価な端末がある
・iPhoneシリーズのみなので、種類を選べない ・カスタマイズの幅が限られる ・SDカードは入れれない ・端末価格が比較的高い		デメリット	・メーカーによってサポート体制や保証期間が異なる ・機能や操作がやや複雑で分かりにくいこともある ・端末によっては利用者が限定的なため、情報収集しにくい
株式会社コネクト			

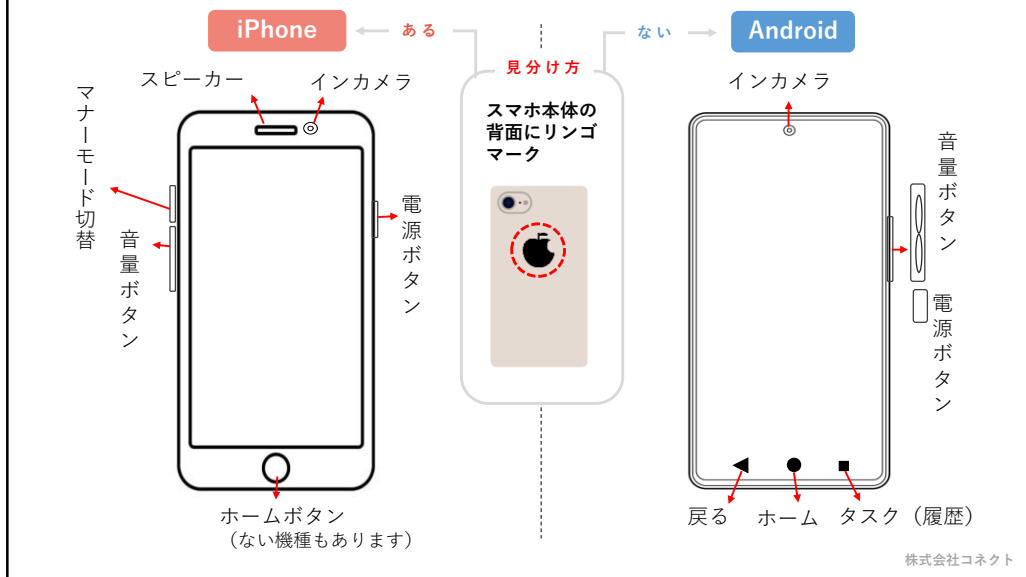
【講師原稿】
次にスマホの種類について説明します。
スマートフォンは大きく分けて2種類に分類されることをご存知でしょうか？
OSという本体を動かすシステムによってiPhoneとandroidに分類され、基本的な機能は同じですが、画面の表示や操作方法などが少し異なります。
iPhoneを使っている方はどれくらいいますか？（挙手してもらう）Android使っている方はどれくらいいますか？
わからない方は次のページで見分け方をご案内しますね！

iPhoneはAppleが開発・販売しているスマートフォンです。操作性がシンプルで直感的なため、初心者でも使いやすい設計になっています。デザインも洗練されており、アルミニウムやガラスを使用した高級感のある外観が特徴です。
一方、AndroidはGoogleが開発したOSを搭載したスマートフォンで、様々なメーカー（Samsung、Sony、Xiaomiなど）が販売しています。Androidの特徴はカスタマイズ性が高く、自分好みに設定できる点です。デザインも多種多様で、防水・耐衝撃性能を重視したモデルもあり、選択肢が豊富です。価格帯も幅広く、予算に合わせて選べるため、安価なモデルから高性能なモデルまで様々です。
iPhoneとAndroidの違いをまとめると、iPhoneはiOSを搭載し、Appleのみが販売しているのに対し、Androidは複数のメーカーから提供されています。iPhoneはシンプルで統一感のある操作性が特徴で、Androidはカスタマイズ性が高く、自由度が高いです。また、iPhoneは比較的高価格帯が多いのに対し、Androidは幅広い価格帯で展開されています。

どちらを選ぶかは、使いやすさや予算、デザインの好みなどによります。どちらも素晴らしいスマートフォンなので、自分に合ったものを選んでくださいね。

ボタンの役割

※Androidの場合、電源や音量ボタンの位置は機種ごとに異なります。



iPhoneX以降はボタンが用意されていません。iPhoneSEはボタンあり。

【講師原稿】

ボタンの役割について説明します。まず見分け方ですが、本体の裏面をご確認ください。

画面裏（背面）にAppleのロゴ（リンゴのマーク）が描かれているかどうかで簡単に見分けることが可能です。

書かれていればiPhoneで、書かれていなければandroidです。

自分の機種がどちらかわかりましたか？それでは、ボタンの位置について説明しますのでテキストと自分のスマートフォンを確認してみてください。

iPhoneからいきます。iPhoneは表からみて右側面に1つボタンがありますが、これが電源ボタンです。

左側面には、上からマナーモード切替スイッチと、音量大ボタン・小ボタンがついています。ボタンはしっかりと押し込まないと反応しません。（触るだけではだめ）

次にAndroidです。Androidは機種が様々なため、テキストの場所と違うものもありますがご了承ください。基本的には右側側面の上から、音量大ボタン・小ボタンとその下に電源ボタンがあります。

これを機にしっかりとボタンの位置と役割を覚えておきましょう！

電源の切り方 (iPhoneX以降)

iPhone



日常の利用で電源を毎回切る必要はありません。
基本は利用し終わったら、スリープ状態にしておきましょう！

【スリープの方法】

- 1) 電源ボタンを短く1回押します
- 2) 画面が暗くなればスリープ状態になっています

株式会社コネクト

【講師原稿】

では、今から電源の入れ方をご案内します。
iPhoneとandroidを順番にご案内します。
まずはiPhoneからです。

電源を切ってしまうと起動までに時間がかかる場合がありますので、ここでは操作はせずにテキストで流れを確認しましょう。

ホームボタンのない機種は、ホームボタンのある機種とは電源の切り方が少し異なります。
今回はホールボタンがない機種についてご案内します。

まず①のように右側の電源ボタンと、左にある音量ボタンの上下どちらか一方のボタンを同時に3秒ほど長押しします。
すると②のような画面が表示されますので先ほどの機種と同じように「スライドで電源オフ」のボタンを左から右にスライドさせると電源が切れます。

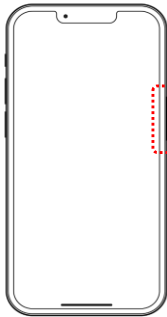
(テキスト右側のスリープの説明)

電源の入れ方 (iPhoneX以降)

iPhone

①

電源ボタンを
3秒程度長押し



②

しばらくするとリン
ゴマークがでて起動
を開始



③

パスワードを入力して
ロックを解除 (ロックを
設定していない場合は必要
ありません)



④

起動完了



株式会社コネクト

【講師原稿】

スマートフォンの電源の入れ方をご説明します。

それでは最初にiPhone電源ボタンはどこにあるのでしょうか？

こちらの機種では、電源ボタンはスマートフォン右側の側面にあります。

ここでも操作はせずにテキストで確認してください。

①電源を入れるには、電源ボタンを10秒ほど長押しします。起動には少々時間がかかります。

②しばらくすると黒い画面にリンゴのロゴマークが出てきますが、そこから20～30秒くらい待っているとホーム画面が起動します。

③パスコードの入力が求められる場合がありますので、ご自身で設定したパスコードをご入力ください。

その後ホーム画面が表示されれば成功です。

電源の切り方

※電源ボタンの位置や画面は機種ごとに異なります

Android

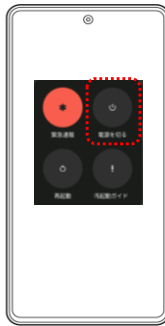
①

電源ボタンと音量ボタン(上)を同時に押す
※機種によっては電源ボタンのみの場合もあります



②

「電源を切る」を押す
「シャットダウン中」の文字が表示されて電源オフ完了



日常の利用で電源を毎回切る必要はありません。

基本は利用し終わったら、スリープ状態にしておきましょう！

【スリープの方法】

- 1) 電源ボタンを短く1回押します
- 2) 画面が暗くなればスリープ状態になっています

株式会社コネク

【講師原稿】

次にandroidの方法です。

androidの方も操作はせずにテキストでご確認ください。

スマートフォンの電源を切る際は、
本体側面部の電源ボタンと音量ボタンの上側を同時に押します。
機種によっては電源ボタンのみの場合もあります。

②のような画面になりましたら、「電源を切る」を押してください。

お持ちの機種によっては「電源」の表示が先に出る場合もありますので、ご注意ください。

(テキスト右側のスリープの説明)

電源の入れ方 ※電源ボタンの位置や画面は機種ごとに異なります

Android



株式会社コネクト

【講師原稿】

それではandroidの電源はどこにあるのでしょうか？

お使いの機種によって異なりますが、たいていの機種は画面から見て右側の位置にあると思います。細長いボタンと人差し指の幅程度のボタンと2つあると思います。たいていの機種は、下にある人差し指程度の幅のボタンが電源ボタンとなります。上にある場合もあります。

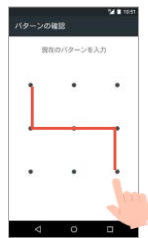
電源ボタンを2秒以上長押しします。
本体が振動したら指を離します。

しばらくすると黒い画面に②のようにメーカーのロゴマーク等が出てくるので20～30秒くらい待っていると起動します。

画面ロックの種類

画面ロックとは、一度スマホの画面をオフにすると、第三者にスマホを操作されないよう自動的にカギがかかる機能のこと

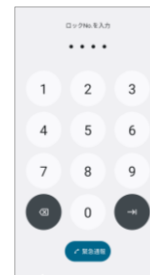
① パターン



② パスワード



③ PINコード（パスコード）



生体認証の活用



顔
認
証



指
紋
認
証

生体認証（バイオメトリクス認証）とは、体の特徴を使って、あなたがあなた自身であることを確認する方法です。IDとパスワードの代わりに利用可能になる場合もあるため、うまく活用することで安全で楽に本人確認ができます。

株式会社コネクト

【講師原稿】

では、次に画面ロックの種類について説明します。皆さんは画面ロックの設定をしていますか？画面ロックとは、一度スマホの画面をオフにすると、第三者にスマホを操作されないよう自動的にカギがかかる機能のことです。最低限のセキュリティ設定として、登録しておくことをおすすめします！

種類は一般的に3つあります。

①画面上に表示される9つの点を予め設定しておいた順番で指でなぞって解除する方法

②予め設定しておいたアルファベットと数字で解除する方法

③予め設定しておいた数字で解除する方法

その他に生体認証の活用もあります。

（テキストの生体認証の説明）

時間の都合上、設定方法は今日の講座内ではできませんので興味がある場合はあとでお声掛けください。

【講師用コメント】

設定したいと希望があった場合は、とにかく慎重に設定する事

☆代理打ち込みはしない☆代理で考えない☆必ず正確にメモしてもらう

☆わからなくなった場合は、最悪データが消えることになるかもだからちゃんと覚えておくようにしっかり案内

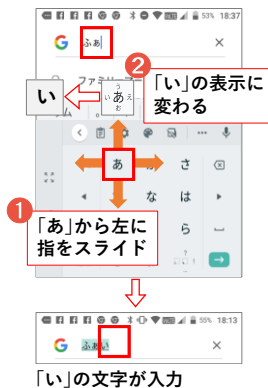
文字入力の仕方

高齢者の方はケータイ入力に慣れてる方が多いですが、慣れればフリック入力のほうが入力ミスが少なく、早く打てるようになります。
小さなキーボードでの入力が難しい方にとっては音声入力も便利です。

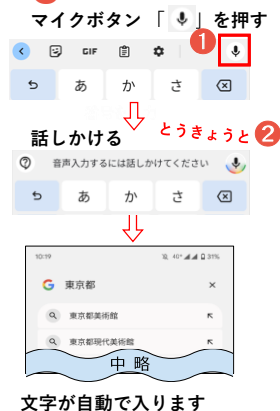
A ケータイ入力 (トグル入力)



B スマートフォン入力 (フリック入力)



C 音声入力



株式会社コネクト

【講師原稿】

次に文字入力の方法についてです。

文字入力には3種類の方法があります。

A～Cを説明

普段Aを使ってる人はどれくらいいますか？

普段Bを使ってる人はどれくらいいますか？

普段Cを使ってる人はどれくらいいますか？

ケータイ入力に慣れてる方が多いが、慣れればフリック入力のほうが入力ミスが少なく、早く打てるようになりますので、機会があればフリック入力に挑戦してみてください。小さなキーボードでの入力が難しい方にとっては音声入力も便利です。

キーボードの切り替え方

「あa1」ボタンで①②③と変わります。
 「地球儀」ボタンでパソコンのキーボード配列となります。
 AndroidとiPhoneでキーボードは大きく変わりません。

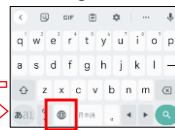
② 英語配列



① 12キー配列



④ パソコン配列 (QWERTY)



③ 10キー配列



Androidは
キーボードの変更
Gboardが標準搭載



小文字の入力方法

⑤ 例：「や」と入力

「や」と入力後に
下記赤枠内を押すと
「や」と小文字になります



英大文字の入力方法

⑥ 例：「K」と入力

「k」と入力後に
下記赤枠内を押すと
「K」と大文字になります



株式会社コネクト

【講師原稿】

次にキーボードの切り替え方についてです。皆さん、スマホで文字を入力するときに「キーの配置が思っていたのと違う」「小さい文字や英語、大文字を入力したいけどやり方がわからない」と困ったことはありませんか？実はキーボードにはいくつか種類があり、状況に応じて切り替えることができます。これを覚えておくと、LINEのメッセージ入力や検索、アドレスの入力など、あらゆる場面で役立ちます。

では実際に見ていきましょう。まず画面左下にある「あa1」ボタンを押すと、「12キー配列」「10キー配列」「英語配列」と切り替わります。

パソコンと同じように入力したい場合は、「地球儀のマーク」をタップするとQWERTY配列に切り替わります。AndroidではGboardという標準のキーボードが入っていて、ここから自由に変更できます。

次に、小さい文字の入力方法です。たとえば「や」と入力したあとに変換候補から小さい「や」を選ぶと「や」と「や」を区別できます。

同じように「か」を小さくして「カ」なども作れます。さらに英大文字を入力したいときはどうするか。英字入力の状態で「k」と入力したあと、変換候補から大文字「K」を選べば切り替えられます。このように、キーボードの切り替えや入力方法を理解しておくと、スムーズに文字を打つことができますようになります。ぜひ今日の練習で実際に試してみましょう。

音声入力方法

最後に「。」や「!」を入力したい時は、そのまま読み上げると入力されます。
例「おはよう みる」→「おはよう。」／「先日はありがとう びっくりマーク」→「先日はありがとう！」



株式会社コネクト

【講師原稿】

それでは、今から音声入力の練習をしてみようと思います！

i P h o n eの方は、s a f a r iを開けてみてください。
Androidの方はGoogleを開けて文字入力ができる準備をしてみましょう！
どの画面を開けていいかが分からない方は声をかけてください。

では準備ができた方から、実践してみましょう。
今回は、「今日のニュース」と話しかけてみてください。

皆さんできましたか？

是非、文字入力がめんどくさい時は音声入力を気軽に使ってみてくださいね！

※本内容に登場する企業名・アプリ名・画面表示は、スマートフォンの
操作方法をわかりやすく紹介するための教育目的による例示です。
特定の企業・サービスを推奨・宣伝するものではありません。
商標・ロゴは各社に帰属します。

株式会社コネクト